

文芸きくち

万句の里俳句会 2月句会

たしかなる初音に耳を遊ばせり
宮の杜明るさ広げ日脚伸ぶ
そこだけは風もやはらぎ梅ふむ
隣家より訪ひくる梅花日に乗つて
やはらかく少し芽の出で露の臺

隈部 輝子
田中 美智
松永 久子
光本とよいち
宮本 敏子

せせらぎ俳句会 2月例会

東北は雪が似合ふよ旅の駅
受験子に雛飾りけりさりげなく
よちよちと歩む幼子春立ちぬ
冬の磯波は楽譜の詩になる
恐ろしや新型肺炎春來るに

青木ユリ子
藤本 邦治
寺本 和子
五丁 義昭
藤本アツ子

旭志文芸教室俳句の会 2月詠草

芍薬の赤芽のぞけり春隣
ほのぼのと蠟梅に明ける令和かな
笠の月明日は来るらし初時雨
選ばれし鮪や億の初値かな
日向ぼこおしゃべり楽し余生かな

水谷 ミネ
芹川 蓉子
稗田 達恵
中尾ヨシコ
芹川のり子

七城短歌会 2月詠草

生き甲斐といつしらなりいし短歌会友と語らう時の間早し
われら世に天職なりし農業も集落に後継者一戸とてなし
垣根越し話を交わす傍らの隣りのパンジー春日に鮮やか
湧水の江津なる湖畔楽園か領域分け合う浮遊の百鳥
ブロッコリーの葉をば今年も喰い荒らすヒヨの大群憎きにあまる

高木 精
嶋田 晴美
緒方 寛子
渡辺 光夫
緒方 正俊

「里」短歌会 2月詠草

梅の花の香れる今日の卒業式進まぬ日々を通り来し孫の
ありのまま我を語りしそのままに友は受けとりふところ深く
支えなる底荷をすべて放つよう開いた口元柔し 義母逝く
暖冬の梅の木の下ヨモギ摘む花びらひらり天逝の子の
麻酔より覚めし誠君ほほ笑むにあふるる涙ひっそりと拭く

桑野 睦子
坂本 玲子
前原 ゆみ
緒方 悦子
松本 和子

溪流短歌会 3月詠草

朝からの機嫌斜めな空晴れて眩しい西日明日は晴れか
人の世の未練払うや竹落葉暮春やさしき雨の音する
梅香り山茶花開く今日の日も明日は寒風すさぶと予報
ろう梅の満開なれど鶴の餌場となりて花も香も消ゆ
冬の風川原に吹きて寒きなか青鷺一羽ウグイ待ちをり

堤 よしみ
中川 愛子
山城 雅子
田中 遥子
岩根 博恵

菊池短歌会 3月詠草

君がため襟と袖ぐち手に洗い陽に干す日々の樂しかりけり
武漢よりウイルス広がり天草の宿は我らの貸し切りとなる
ガラシヤの愛の証しか泰勝寺道沿いに万両紅し
背伸びして言葉の落穂拾はむと電子辞書打つ春宵の炬燵に
明け暮れのみまきたつき倦みやすいしなとか迷へる黙しつゝめて

安藤 則子
川口すみ子
古賀 勝士
中川 愛子
奴留湯健蓉

入会希望など詳しくは、
それぞれの句会や歌会
にお尋ねください。

万句の里俳句会
せせらぎ俳句会
旭志文芸教室俳句の会

井芹 ☎090(1342)2151
藤本 ☎0968(38)4087
中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会
「里」短歌会
菊池短歌会

佐々 ☎0968(24)3761
／溪流短歌会
木原 ☎090(5284)2418
安藤 ☎0968(25)4285